

Web担当者のためのアクセシビリティセミナー

JIS X 8341-3:2010 と 関連文書の読み方／使い方

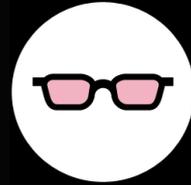
2015年2月4日



SAWADA STANDARD DESIGN

1. 自己紹介
2. 今回の目標
3. JIS X 8341-3:2010 の概要
4. JIS X 8341-3:2010 の読み方／使い方
5. まとめ

自己紹介



SAWADA STANDARD DESIGN

澤田 望

@SawadaStdDesign

WAIC WG2委員 (2011年～)

キヤノンサイトのデザイン監修／運用 (～2013年)

2014年、岡山で独立

今回の目標

アクセシビリティの大切さは分かってるけど、
JIS対応は、何だかやっぱり難しそう ...



ここの克服。

制作会社の方からJIS対応について質問されるけど、
正直なところ、何が何だかさっぱり分からない。



ここの克服。

誰かに聞かなくても、
自分でJIS対応の方法について調べられる
ようになる。

内容を覚える必要はありません。

「何が、どこに書いてあるか」



ここが整理できていれば、

自分でJIS対応の方法について調べられる
ようになる...はず。

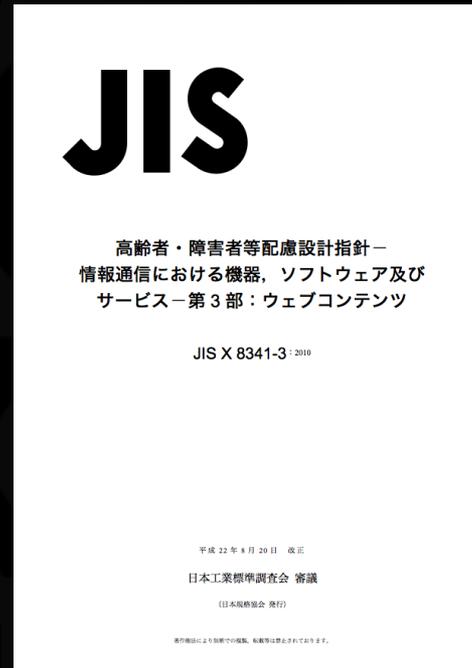
JIS X 8341-3:2010 の概要

読んだことありますか？

入手方法

【規格票（冊子）】

日本規格協会 Web Store



※ 全国各書店においても、お取り寄せの上入手可能。

入手方法

【PDFでの閲覧】

日本工業標準調査会 JIS検索

The screenshot shows the JIS search interface. At the top, there is a navigation bar with links for Home, News, Related Links, Site Map, and Terms. Below this, there are several menu items for standardization, conformity assessment, and general information. A search box labeled 'データベース検索' is visible. The main content area shows the search path: Home > Database Search > JIS Search. The search results section is titled 'JIS検索' and includes a search ID 'JPS00020'. It provides instructions on how to use the search, such as specifying conditions and clicking the '一覧表示' button. A search input field contains 'X8341' and the '一覧表示' button is highlighted.

※ 閲覧環境によっては動作が不安定な場合もあり。
閲覧できない場合は「JIS規格の閲覧等が上手く出来ない場合」を参照のこと。

残念ながら ...

規格票を読んだだけでは、JIS対応は出来ません。

(暴言)

なので、
その他の関連情報と併せて読むのがオススメです。

どうして?

JIS X 8341-3:2010 についてよく聞く意見

資料が多いし、何が何処にあるのか分からない。

文字ばかりで、読む気が失せる。

日本語の表現が難解。

Q：資料が多く、分散しているのは？

A1：成り立ちが複雑だから。

JIS X 8341-3:2010 = WCAG 2.0 + JIS独自の要求事項



Web Content Accessibility Guidelines 2.0

W3C勧告（2008年）

Q：資料が多く、分散しているのは？

例：ウェブコンテンツについてのガイドライン

ガイドラインの中身は > 規格票の箇条7

もしくは

> WCAG 2.0の日本語訳

実装方法は > WCAG 2.0 実装方法集

Q：資料が多く、分散しているのは？

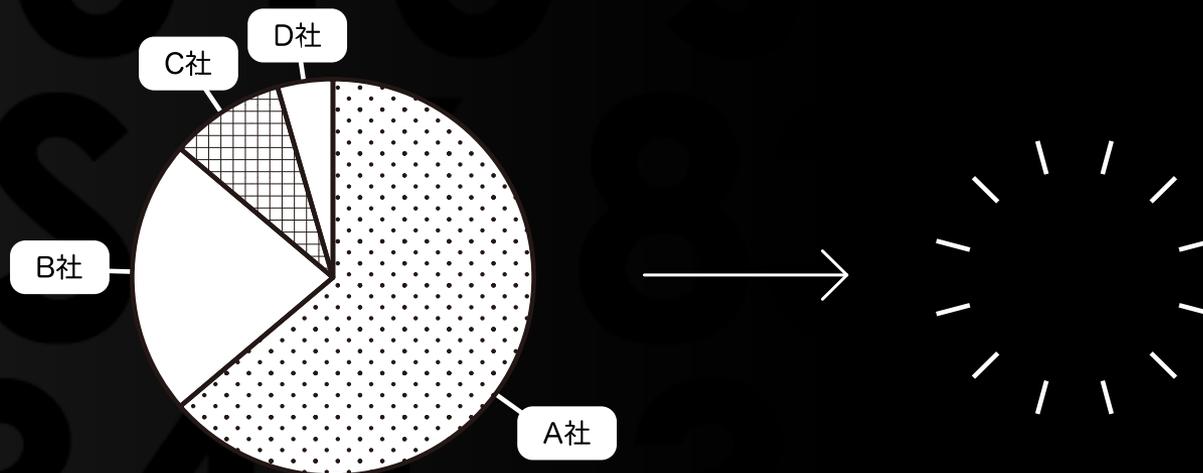
A2：技術の進化に対して記述内容が陳腐化しないよう、
技術に依存しない記述を行っているから。

規格票／ガイドライン → 更新：少ない

関連文書 → 更新：多い

Q：文字ばかりなのは？

A：技術に依存しない記述にするため、
2004年版にあった具体例や図解を全て削除したから。



Q：日本語の表現が難解なのは？

A：WCAG 2.0（技術非依存）の原文に忠実な翻訳だから。

その結果、聞き慣れた日本語表現から離れてしまった。

【例】

「時間の経過に伴って変化するメディア」

「構成要素が持つ感覚的な特徴」

規格票自体は、
そういうモノだと思って割り切りましょう。

＼(^o^)／

なので、
その他の関連情報と併せて読むのがオススメです。
(2回目)

あ、でも
現在、絶賛見直し中ですよ。

\ (≧▽≦) /

JIS X 8341-3:2010 の構成

JIS X 8341-3:2010 の構成

WAICトップページ



JIS X 8341-3:2010 関連文書



JIS X 8341-3:2010 解説



JIS X 8341-3:2010 の概要



JIS X 8341-3:2010 の構成



WAICトップ (<http://waic.jp>)

JIS X 8341-3:2010 の構成

- 箇条1 適用範囲
- 箇条2 引用規格
- 箇条3 用語及び定義
- 箇条4 ウェブコンテンツのアクセシビリティ達成等級
- 箇条5 一般的原則
- 箇条6 ウェブコンテンツの確保・向上に関する要件
- **箇条7 ウェブコンテンツに関する要件** ← 実装がらみはココ
- 箇条8 試験方法

箇条4 ウェブコンテンツのアクセシビリティ達成等級

WCAG 2.0の level と同じ

- 等級 A 最低限 ← まずはココ
- 等級 AA 目標
- 等級 AAA たぶん無理

等級 A 準拠ページが満たすべき達成基準一覧

表 1—等級 A, 等級 AA 又は等級 AAA で適合する場合に満たすべき達成基準

細分簡条	題名
7.1.1.1	非テキストコンテンツに関する達成基準
7.1.2.1	収録済みの音声しか含まないメディア及び収録済みの映像しか含まないメディアに関する達成基準
7.1.2.2	収録済みの音声コンテンツのキャプションに関する達成基準
7.1.2.3	収録済みの映像コンテンツの代替コンテンツ又は音声ガイドに関する達成基準
7.1.3.1	情報及び関係性に関する達成基準
7.1.3.2	意味のある順序に関する達成基準
7.1.3.3	感覚的な特徴に関する達成基準
7.1.4.1	色の使用に関する達成基準
7.1.4.2	音声制御に関する達成基準
7.2.1.1	キーボード操作に関する達成基準
7.2.1.2	フォーカス移動に関する達成基準
7.2.2.1	調整可能な制限時間に関する達成基準
7.2.2.2	一時停止、停止及び非表示に関する達成基準
7.2.3.1	3回のせん（閃）光又はいき（闕）値以下に関する達成基準
7.2.4.1	ブロックスキップに関する達成基準
7.2.4.2	ページタイトルに関する達成基準
7.2.4.3	フォーカス順序に関する達成基準
7.2.4.4	文脈におけるリンクの目的に関する達成基準
7.3.1.1	ページの言語に関する達成基準
7.3.2.1	オンフォーカスに関する達成基準
7.3.2.2	ユーザインタフェースコンポーネントによる状況の変化に関する達成基準
7.3.3.1	入力エラー箇所の特定に関する達成基準
7.3.3.2	ラベル又は説明文に関する達成基準
7.4.1.1	構文解析に関する達成基準
7.4.1.2	プログラムが解釈可能な識別名、役割及び設定可能な値に関する達成基準

JIS 規格票 箇条4の表1

等級 A 準拠ページが満たすべき達成基準一覧

もしくは、WAICサイト

JIS X 8341-3:2010 試験実施ガイドライン



JIS X 8341-3:2010 試験実施ガイドライン 2012年11月版



3.3 達成基準チェックリストの例



達成基準チェックリストの例

【 注意 】

満たすべき達成基準一覧のうち、
使用している実装方法が含まれる
達成基準のみチェックすればOK。

【 例 】

動画も音声も使っていないページで、

「7.1.2 時間の経過に伴って変化するメディアに関する達成基準」
をチェックする必要はない。

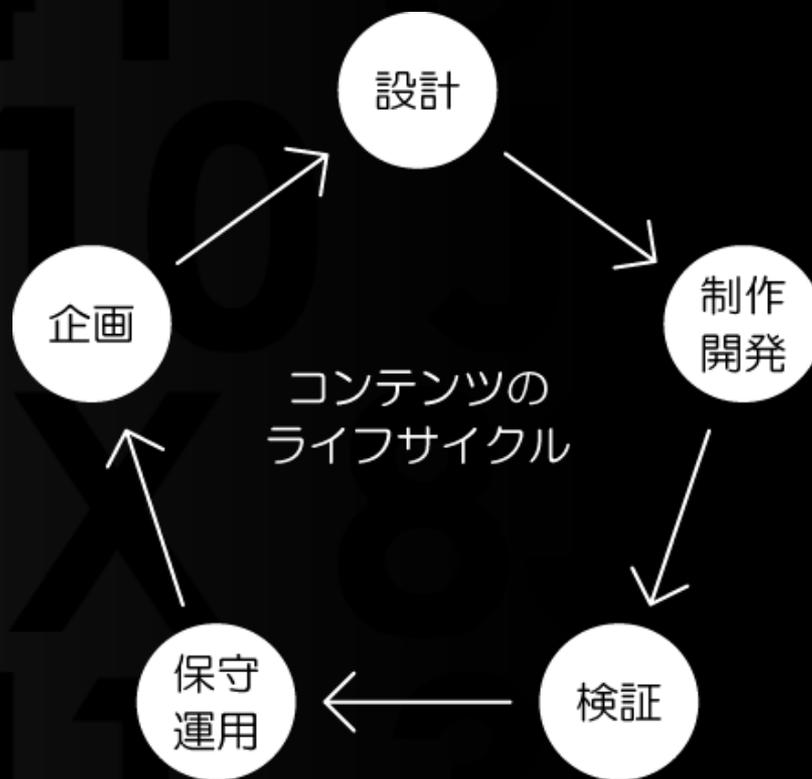
箇条5 一般的原則

「ウェブアクセシビリティが確保されている」状態とは
下記の4原則が満たされている状態。

- **知覚可能** 情報の存在を知り、得られなきゃ ダメ
- **操作可能** 操作ができなきゃ ダメ
- **理解可能** 得た情報は理解できなきゃ ダメ
- **頑健性** 様々なユーザーエージェントが解釈できなきゃ ダメ

箇条6 ウェブコンテンツの確保・向上に関する要件

コンテンツのライフサイクルそれぞれのフェーズで実施しなければならないこと



箇条6 ウェブコンテンツの確保・向上に関する要件

ウェブアクセシビリティ方針の策定と公開

- 適用する達成基準
「目標とするウェブコンテンツのアクセシビリティ達成等級：等級AA」
- 使用するウェブコンテンツ技術および実装方法
「依存したウェブコンテンツ技術：HTML5／CSS3／JavaScript」

詳しくは、WAICサイト

➤ [ウェブアクセシビリティ方針策定ガイドライン](#)

箇条8 試験方法

達成基準を満たしているかどうかの客観的な検証

詳しくは、WAICサイト

＞ [試験実施ガイドライン](#)

いよいよ

箇条7 ウェブコンテンツに関する要件

箇条7 ウェブコンテンツに関する要件

JIS X 8341-3:2010 の 箇条7 = WCAG 2.0

【例】

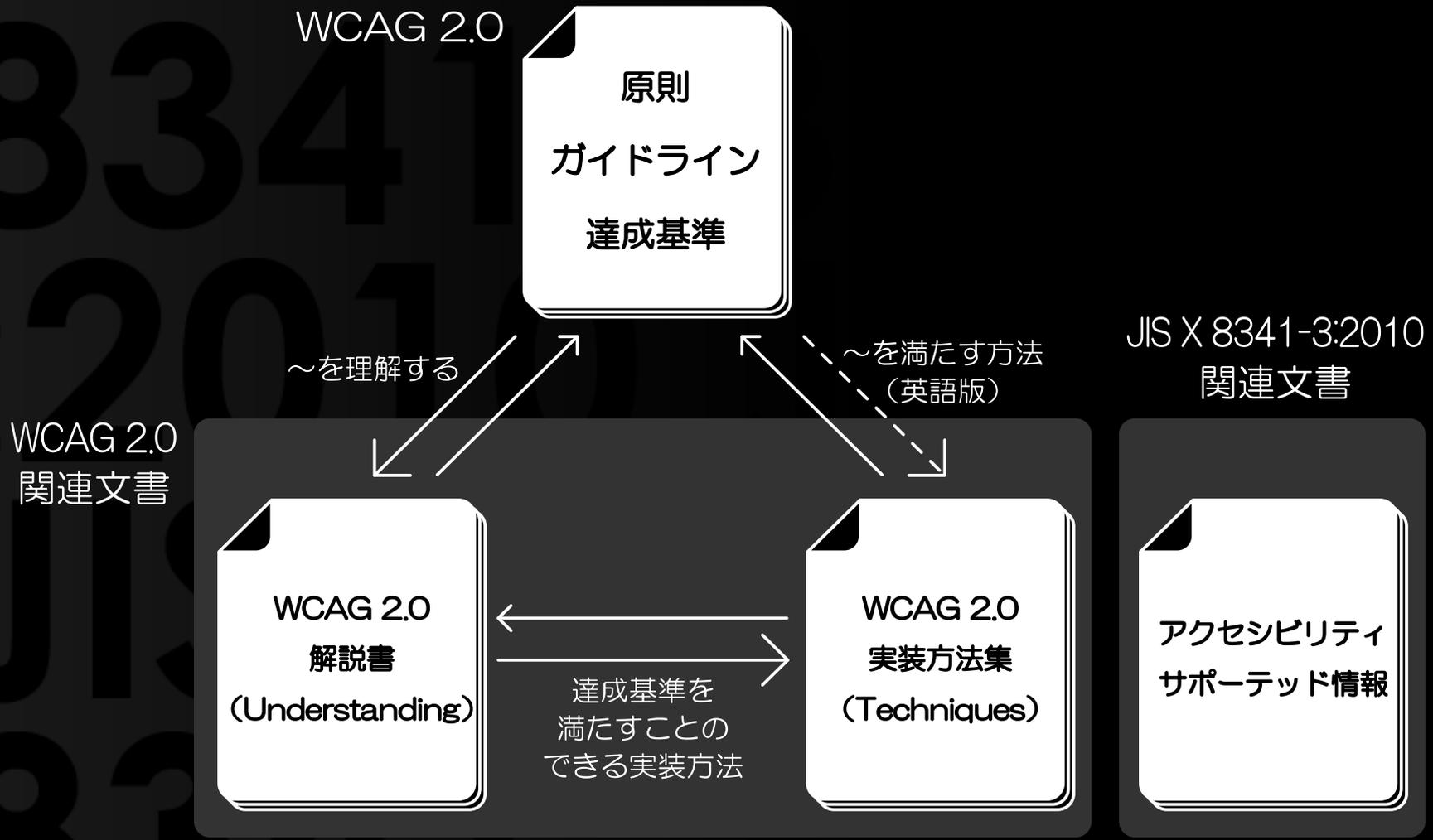
- JIS の7.1.1：代替テキストに関するガイドライン
- WCAG 2.0 の 1.1：代替テキスト

すべての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。

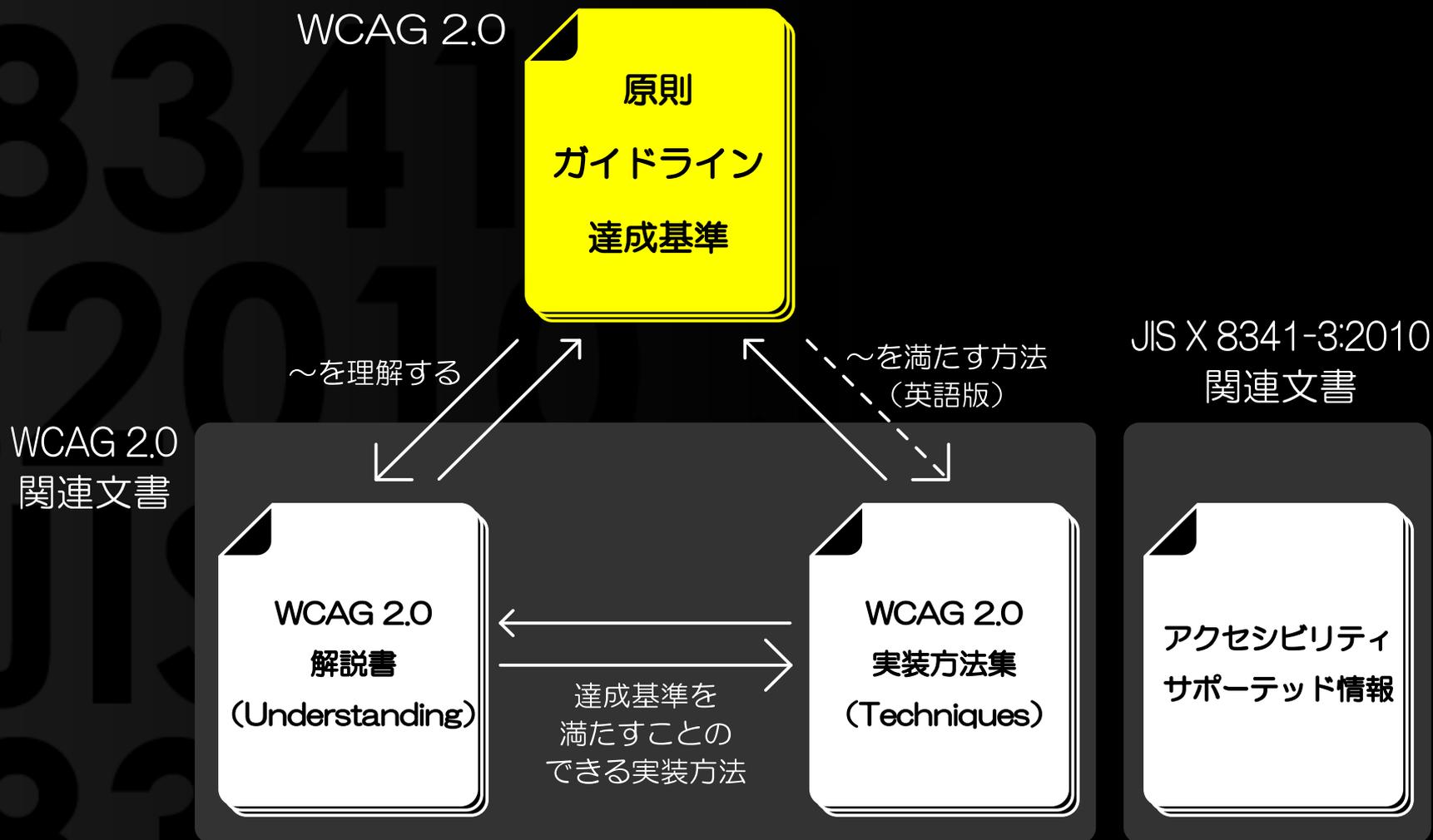
(同じ内容)

ということで...
ここから先は、
WCAG2.0の話です。

WCAG 2.0および関連文書（JISを含む）の主な構成



WCAG 2.0および関連文書（JISを含む）の主な構成



原則

※ JISの箇条5 一般的原則と同じ。

- 知覚可能 情報の存在を知り、得られなきゃ ダメ
- 操作可能 操作ができなきゃ ダメ
- 理解可能 得た情報は理解できなきゃ ダメ
- 頑健性 様々なユーザーエージェントが解釈できなきゃ ダメ

ガイドライン

コンテンツ制作者が達成基準を理解し、
より適した実装方法を用いることができるように、
全体像および全般的な目的を提供。 (検証不可能)

【例】

ガイドライン 1.1 代替テキスト：

すべての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。

達成基準

WCAG 2.0 に適合するために要求される個別要件。

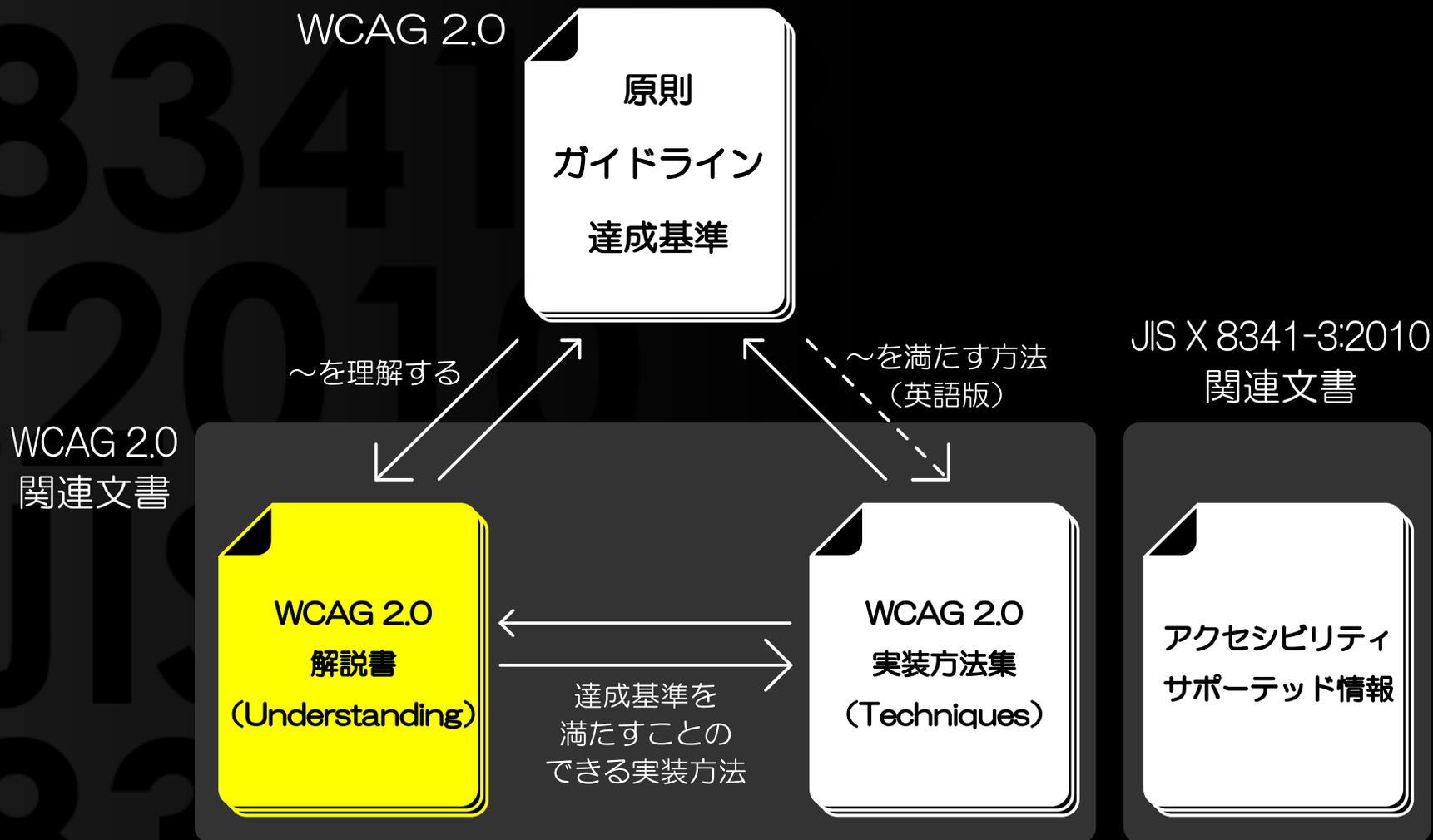
ウェブコンテンツ技術に依存しない形で、
検証可能な基準として記述。

【例】

1.1.1 非テキストコンテンツ：

利用者に提示されるすべての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストを提供する。ただし、次の場合は除く：（レベルA）

WCAG 2.0および関連文書（JISを含む）の主な構成



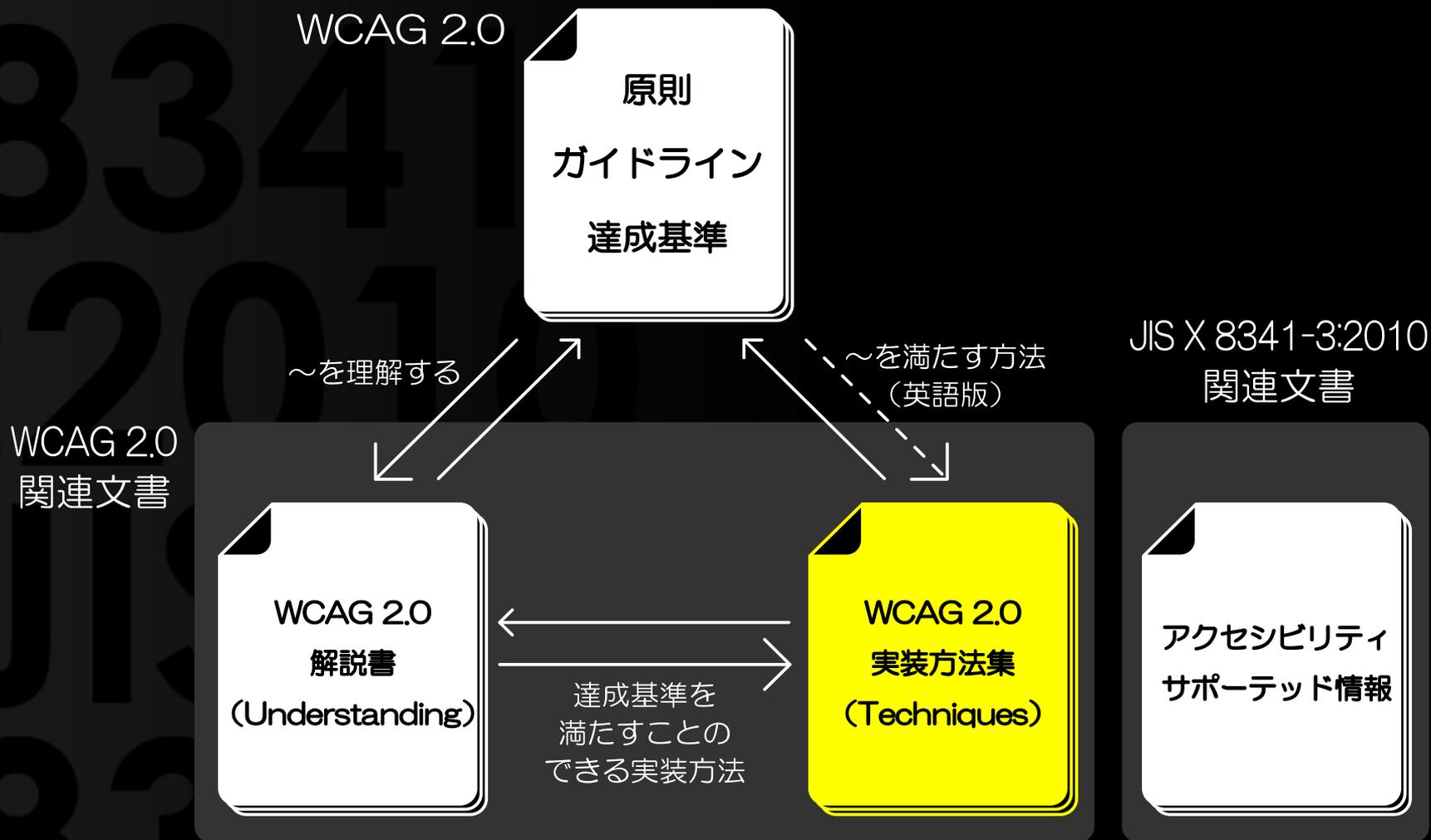
解説書（Understanding）

理解と実装を助けるためにW3Cが公開している参考文書。

定期的に追加／更新される予定。

- 達成基準の意図
- 達成基準の具体的なメリット
- 達成基準を満たしている事例
- 達成基準を満たすことのできる実装方法

WCAG 2.0および関連文書（JISを含む）の主な構成



実装方法集 (Techniques)

WCAG 2.0の達成基準を満たすために用いることができる
具体的なコンテンツ制作方法集。

定期的に追加／更新される予定。

- 解説
- 事例
- 参考リソース
- 検証

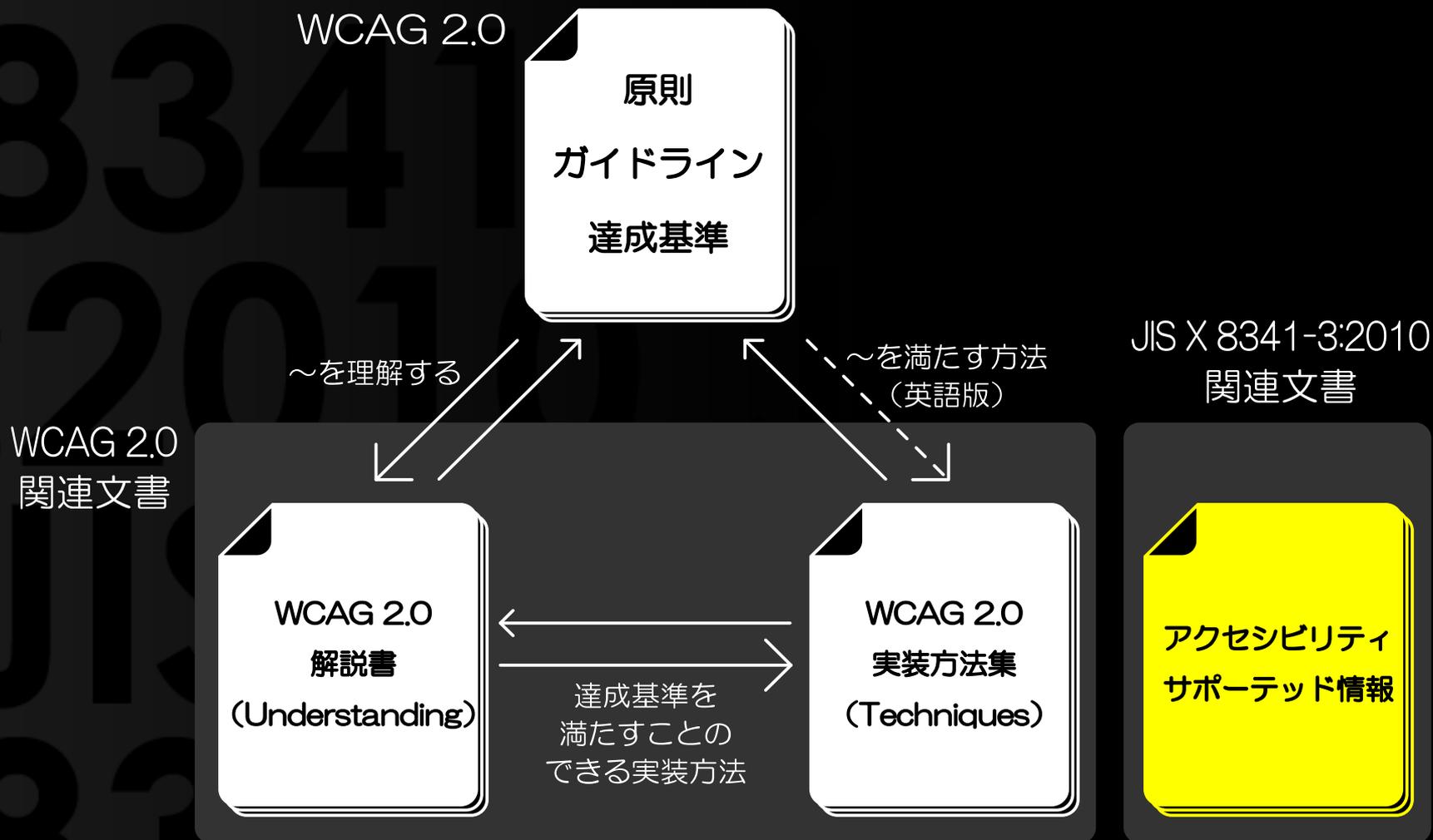
実装方法集の主なカテゴリー

- 一般 (G)
- HTML / XHTML (H)
- CSS (C)
- クライアントサイド・スクリプト (SCR)
- ARIA (ARIA)
- PDF (PDF)

【 注意 】

実装方法集は、あくまで事例集であり、
掲載されていない独自の方法でも
達成基準を満たすことができるなら問題ない。

WCAG 2.0および関連文書（JISを含む）の主な構成



アクセシビリティ・サポーテッド情報

アクセシビリティ・サポーテッド：
実際に利用者が利用可能であること。

WAICが日本のユーザエージェントで調査した結果、
及び 各実装方法が達成基準を満たせるかどうかを
判断するための参考資料。

※ 支援技術は、海外に比べて新しい技術や仕様への対応が遅れ気味。

アクセシビリティ・サポーテッド情報

- ・事例に対するテストファイル
- ・WAIC見解（達成可能／達成不可能／要注意）
- ・注意点（結果×なユーザーエージェントなど）
- ・代替もしくは推奨する方法
- ・テスト結果の詳細

※ 全て○の場合は掲載されないので注意。

※ テストファイルは独自実装のチェックなどに利用可能。

JIS X 8341-3:2010 の 読み方／使い方

よくある（？）シチュエーション

ゆるキャラをせっかく作ったので、
サイトのトップページで動き回らせたい。
ただし、達成等級Aに準拠できる方法で。

手順（かなり慎重派）

1. 動きのある情報について書かれている**ガイドライン**を探す。
2. ガイドラインに含まれる**達成基準**を探す。
3. 達成基準に対する**解説書**を読む。
4. 達成基準を満たすことのできる**実装方法**を知る。
5. 実装方法の**アクセシビリティ・サポーテッド情報**を見る。
6. 想定される閲覧環境で問題がないか確認する。

1. 動きのある情報について書かれているガイドラインを探す。



WAICトップ

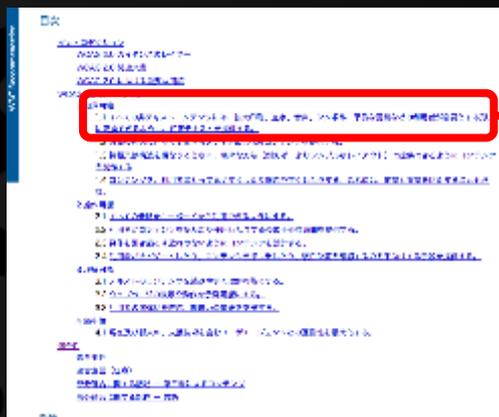


WCAG2.0ガイドライン



1. 動きのある情報について書かれているガイドラインを探す。

「1.1 すべての非テキストコンテンツ～」？



WCAG2.0ガイドライン

W3C Recommendation

ガイドライン 1.1 代替テキスト: すべての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。

[ガイドライン1.1を詳細する](#)

1.1.1 非テキストコンテンツ: 利用者に提示されるすべての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストを提供する。ただし、次の場合は除く: (レベルA)

[1.1.1を満たす方法](#)
[1.1.1を詳細する](#)

- **コントロール、入力:** 非テキストコンテンツが、コントロール又は利用者の入力を受け付けるものであるとき、その目的を説明する識別名を提供している。(コントロール及びユーザの入力を受け入れるコンテンツに関するその他の要件は、[ガイドライン 4.1](#)を参照のこと。)
- **時間の経過に伴って変化するメディア:** 非テキストコンテンツが、時間の経過に伴って変化するメディアであるとき、代替テキストは、少なくとも、その非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。(メディアに関するその他の要件は、[ガイドライン 1.2](#)を参照のこと。)
- **試験:** 非テキストコンテンツが、テキストで提示されると無効になる試験又は演習のとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。
- **感覚的:** 非テキストコンテンツが、特定の感覚的体験を創り出すことを主に意図しているとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。
- **CAPTCHA:** 非テキストコンテンツが、コンピュータではなく人間がコンテンツにアクセスしていることを確認する目的で用いられているとき、代替テキストは、その非テキストコンテンツの目的を特定し、説明している。なおかつ、他の感覚による知覚に対応して出力する CAPTCHA の代替形式を提供することで、様々な障害に対応している。
- **装飾、整形、非表示:** 非テキストコンテンツが、装飾だけを目的としている、見た目の整形のためだけに用いられている、又は利用者に提供されるものではないとき、支援技術が無視できるように実装されている。

「動き回るマスコット」はテキスト情報じゃないから
「非テキストコンテンツ」が関係ありそう。

2. ガイドラインに含まれる達成基準を探す。

ガイドライン 1.1 代替テキスト: すべての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、代替テキストを提供する。

[ガイドライン1.1を理解する](#)

1.1.1 非テキストコンテンツ: 利用者に提示されるすべての非テキストコンテンツには、同等の目的を果たす代替テキストを提供する。ただし、次の場合は除く：(レベルA)

[1.1.1を満たす方法](#)
[1.1.1を理解する](#)

- **コントロール、入力:** 非テキストコンテンツが、コントロール又は利用者の入力を受け付けるものであるとき、その目的を説明する識別名を提供している。(コントロール及びユーザの入力を受け入れるコンテンツに関するその他の要件は、[ガイドライン 4.1](#)を参照のこと。)
- **時間の経過に伴って変化するメディア:** 非テキストコンテンツが、時間の経過に伴って変化するメディアであるとき、代替テキストは、少なくとも、その非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。(メディアに関するその他の要件は、[ガイドライン 1.2](#)を参照のこと。)
- **試験:** 非テキストコンテンツが、テキストで提示されると無効になる試験又は演習のとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。
- **感覚的:** 非テキストコンテンツが、特定の感覚的体験を創り出すことを主に意図しているとき、代替テキストは、少なくともその非テキストコンテンツを識別できる説明を提供している。
- **CAPTCHA:** 非テキストコンテンツが、コンピュータではなく人間がコンテンツにアクセスしていることを確認する目的で用いられているとき、代替テキストは、その非テキストコンテンツの目的を特定し、説明している。なおかつ、他の感覚による知覚に対応して出力する CAPTCHA の代替形式を提供することで、様々な障害に対応している。
- **装飾、整形、非表示:** 非テキストコンテンツが、装飾だけを目的にしている、見た目の整形のためだけに用いられている、又は利用者に提供されるものではないとき、支援技術が無視できるように実装されている。

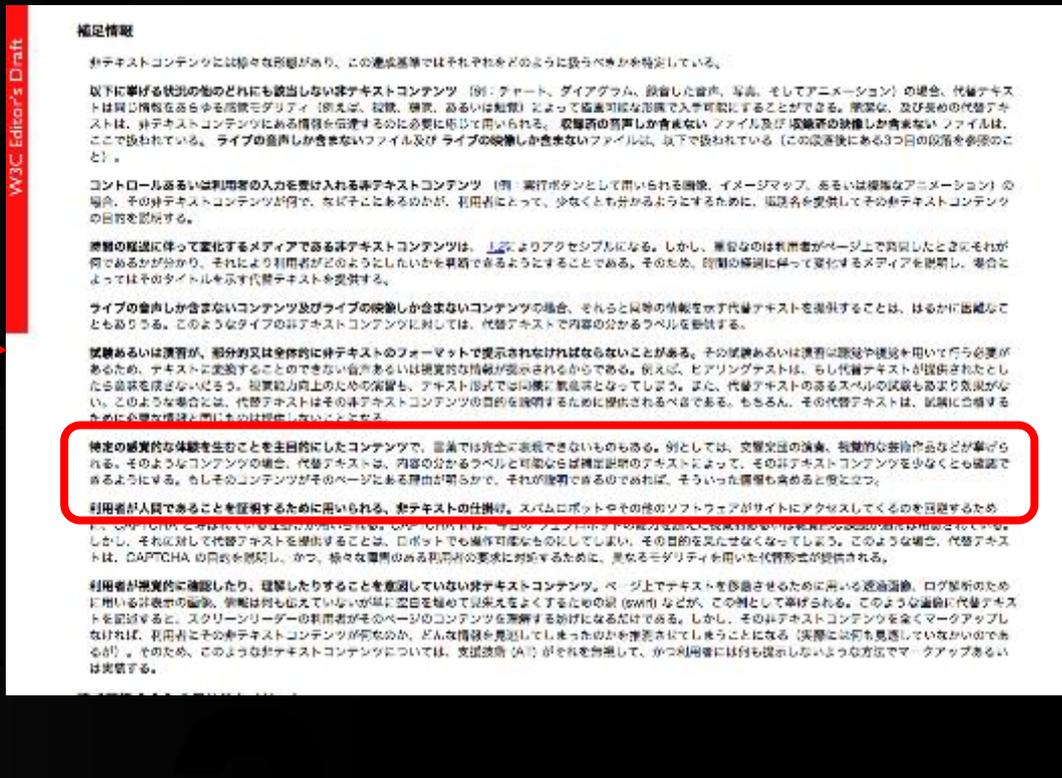
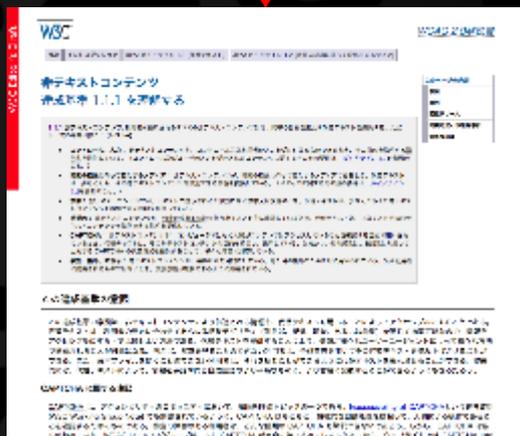
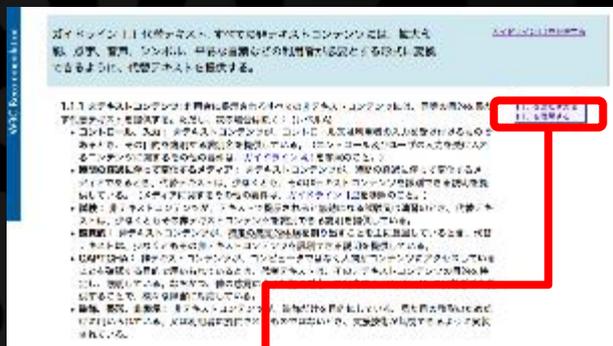
※ この例の場合は達成基準が一つだけ。

「特定の感覚的体験」？

該当しそうだけど、具体的にはどうすればいいの？

3. 達成基準に対する解説書を読む。

WCAG2.0ガイドライン



WCAG 2.0 解説書

4. 達成基準を満たすことのできる実装方法を知る。

達成基準を満たすことのできる実装方法

使用法： そのコンテンツに合致する状況を以下から選択すること。それぞれの状況には、WCAG ワーキンググループがその状況において十分であると判断する、番号付の実装方法（又は、実装方法の組合せ）がある。

状況 A： 短い説明によって、非テキストコンテンツと同じ目的を果たし、同じ情報を提示できる場合：

1. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法を用いて、[G94: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供する、簡潔な代替テキストを提供する](#)

状況 B： 短い説明によって、非テキストコンテンツと同じ目的を果たし、同じ情報を提示できない場合（例：チャート又はダイアグラム）：

1. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法及び次に挙げる長い説明の実装方法の一つを用いて、[G95: 非テキストコンテンツの簡単な説明を提供する、簡潔な代替テキストを提供する](#)
 - 次に挙げる長い代替テキストの実装方法を用いて、[G92: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供する長い説明を提供する](#)
 - [G74: 短い説明の中で長い説明のある場所を示して、非テキストコンテンツの近くにあるテキストで長い説明を提供する](#)
 - [G73: 非テキストコンテンツのすぐ隣に別の場所へのリンクを置き、その別の場所で長い説明を提供する](#)

状況 C： 非テキストコンテンツがコントロールである、又は利用者の入力を受け入れる場合：

1. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法を用いて、[G82: 非テキストコンテンツの目的を特定する代替テキストを提供する](#)
2. [H44: label要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける \(HTML\)](#)
3. [H65: label要素を用いることができないとき、title属性を用いてフォーム・コントロールを特定する \(HTML\)](#)

状況 D： 非テキストコンテンツが時間の経過に伴って変化するメディアである場合（ライブの映像しか含まないコンテンツ及びライブの音声しか含まないコンテンツを含む）； テキストで提示されると無効になる試験又は演習； 又は、[特定の感覚的体験を創り出すことを主に意図しているコンテンツ](#)：

1. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法を用いて、ラベルを記述する。
2. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法を用いて、[G68: コンテンツの内容が分かるラベルを提供し、ライブの音声しか含まないコンテンツ及びライブの映像しか含まないコンテンツの目的を説明する](#)
3. 次に挙げる短い代替テキストの実装方法を用いて、[G100: 非テキストコンテンツの一般に認められた名前又は内容が分かる名前を提供する](#)

状況 E： 非テキストコンテンツが CAPTCHA である場合：

1. [G143: 代替テキストを提供して、CAPTCHAの目的を説明する、かつG144: 異なるモダリティを用いて、同じ目的を果たす CAPTCHA をもう一つウェブページで提供する、かつ、G144: 同じ目的を果たす、異なる感覚モダリティを用いたもう一つのCAPTCHAがウェブページにあることを確認する](#)

状況 F： 非テキストコンテンツを支援技術が無視するようにしなければならない場合：

1. 次に挙げるウェブコンテンツ技術特有の実装方法を用いて、支援技術が非テキストコンテンツを無視するように実装する、又はマークアップする。
 - [H67: 支援技術が無視すべき画像の img 要素で、alt属性値を空にして、title 属性を付与しない \(HTML\)](#)
 - [C9: CSS を用いて、装飾目的の画像を付加する \(CSS\)](#)

4. 達成基準を満たすことのできる実装方法を知る。

このページには、前バージョン [2008年12月11日版の日本語訳] から修正 (追加、変更または削除) された箇所があります。
 設定: [全ての修正を表示](#) | [目次ページを表示/非表示](#) | [印刷No.を表示/非表示](#) | [\[ここから\]/\[ここまで\]を表示/非表示](#) | [全ての修正を表示](#)
 表示サンプル: このページの修正箇所は次のように表示されます。
[\[ここから追加\] テキスト \[追加ここまで\]](#) | [\[ここから変更\] テキスト \[変更ここまで\]](#) | [\[ここから削除\] テキスト \[削除ここまで\]](#)



目次 | [イントロダクション](#) | [前: 実装方法 G99](#) | [次: 実装方法 G101](#)

G100: 非テキストコンテンツの一般に認められた名前又は内容が分かる名前[[ここから追加](#)] となる簡潔な代替テキスト [[追加ここまで](#)]を提供する

このページのコンテンツ:

適用 (対象)
解説
事例
参考リソース
関連する実装方法
検証

適用 (対象)

全てのウェブコンテンツ技術

これは、次の達成基準に関連する実装方法である:

- 達成基準 1.1.1 [非テキストコンテンツ]
 - [How to Meet 1.1.1 \(Non-text Content\): 英語](#)
 - [達成基準 1.1.1 \(非テキストコンテンツ\) を理解する](#)

解説

この実装方法の目的は、非テキストコンテンツが特定の感覚的体験を提供することを意図している場合においても、利用者が非テキストコンテンツを特定できるようにすることである。例えば、耳が聞こえない利用者は、たとえ聞くことができなくとも、音声ファイルがどのようなものか知りた~~いと~~思っ~~た~~ら~~ら~~ず、同じように、全音の利用者も、たとえ見ることができなくとも視覚的な映像の題材がどのようなものか知りた~~いと~~思っ~~た~~ら~~ら~~ず。

事例

事例 1

- モナリザの絵には「モナリザ、レオナルド・ダ・ビンチ作」という代替テキストがある。
- 音声ファイルには「テルミンを演奏している5人の小学生」という代替テキストがある。
- 有名なモダンアートの作品には「赤、青、及び黄色。ピエト モンドリアン作」という表題が付けられている。

【実装方法集の例：H2】

H2: 隣り合った画像とテキストリンクを同じリンクの中に入れる

適用 (対象)

リンク機能を提供するHTML及びXHTMLドキュメント
これは、次の達成基準に関連する実装方法である

- 達成基準 1.1.1 (非テキストコンテンツ)
 - How to Meet 1.1.1 (Non-text Content): 英語
 - 達成基準 1.1.1 (非テキストコンテンツ) を理解する
- 達成基準 2.4.4 (文脈におけるリンクの目的)
 - How to Meet 2.4.4 (Link Purpose (in Context)): 英語
 - 達成基準 2.4.4 (文脈におけるリンクの目的) を理解する
- 達成基準 2.4.9 (リンクの目的)
 - How to Meet 2.4.9 (Link Purpose (Link Only)): 英語
 - 達成基準 2.4.9 (リンクの目的) を理解する

このページのコンテンツ:

適用 (対象)
解説
事例
参考リソース
関連する実装方法
検証

解説

この実装方法の目的は、ドキュメント内で互いに隣接したテキストとアイコンを使ったリンクが提供されている時に生じる不要な重複を避けることである。

よくあるリンクとして、互いに隣接したテキストとアイコンの両方を用いたリンクがある。それぞれが視覚的にはわずかに離れていることもあって、そのテキストとアイコンのリンクは別々のリンクであることが多い。視覚的にはそれらは同じ一つのリンクのように見えるが、多くの利用者にとっては二つの別々のリンクであり、それによって混乱させてしまうことがある。これを選択するためには、画像から代替テキストを省略するコンテンツ制作者もいるが、代替テキストがグラフィカルなリンクと同じ目的を果たしていないので、これでは達成基準 1.1.1 に不適合になる。これに対処するために好ましい方法は、一つのリンクにテキストと画像を一括に入れて、テキストと画像の代替テキストの内容が重複しないように画像には空の代替テキストを提供することである。

ページをレイアウトしやすくするために、テキストとアイコンのリンクを隣接したテーブルセルに分けることがある。WCAG 2.0 ではレイアウトテーブルの使用を禁止していないが、HTMLのtable要素に定義されたセマンティックな意味を保持させ、コンテンツから表現を分離するコーディング手法に準拠するためにも、CSSベースのレイアウトが推奨されている。CSSが使用されている場合には、この実装方法を適用して、テキストとアイコンのリンクを一つにまとめることができる。

事例

事例 1

アイコンとテキストが同じ。要素の中にある。

コード例:

```
<a href="products.html">
  
  製品のページ
</a>
```

事例 2

リンクにアイコンとテキストがあり、サイトのヘルプでそのアイコンの説明をしている。img 要素には、サイトのヘルプで使われているアイコンの名前 (「HOMEページのアイコン」) が代替テキストとして記述されていて、サイトのヘルプの中では「HOMEページのアイコン」をクリックすることが説明されている。

コード例:

```
<a href="foo.htm">
  
  HOMEページへ戻る
</a>
```

不適合事例 3

これは、この実装方法の不適合となる事例である。アイコンとテキストが隣り合っている。画像の代替テキストが隣接しているリンクテキストと同じ内容になっているため、同じリンクが二度読まれてしまうことになる。

```
<a href="products.html">
  
  <a href="products.html">
    製品のページ
  </a>
```

不適合事例 5

これは、この実装方法を誤って用いた事例である。アイコンとテキストは同じ。要素の中にある。しかし、リンクテキストと同じ代替テキストをアイコンの画像に記述しているため、同じリンクが二度読まれてしまうことになる。

コード例:

```
<a href="products.html">
  
  製品のページ
</a>
```

参考リソース

この参考リソースは、あくまでも情報提供のみが目的であり、推薦などを意味するものではない。

- HTML 4.01 - how to specify alt text

関連する実装方法

- G91: リンクの目的を説明したリンクのラベルを提供する
- G94: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、同じ情報を提供する、簡潔な代替テキストを提供する
- H30: a 要素のリンクの目的を説明するテキストリンクを提供する
- C9: CSS を用いて、装飾目的の画像を付加する
- FR9: 達成基準 2.4.4、達成基準 2.4.9、及び達成基準 4.1.2 の不適合事例 - 画像だけがリンクのコンテンツである際に、img 要素の alt 属性値が空になっている

検証

チェックポイント

img 要素を含む a 要素すべてに対して:

- 同じ href 属性及び同じリンク先の説明を持つ隣接した a 要素がない。

テーブル内にある a 要素すべてに対して:

- 同じ href 属性及び同じリンク先の説明を持つ a 要素が隣接したテーブルセルにない。

判定基準

- 上記の全てを満たしている。

注意: この実装方法が「達成基準を満たすことのできる実装方法」の一つである場合、このチェックポイントや判定基準を満たしていなければ、それはこの実装方法が正しく用いられていないことを意味するが、必ずしも達成基準を満たしていないことにはならない。場合によっては、別の実装方法によってその達成基準が満たされていることもありうる。

このページは、「WCAG 2.0 実装方法集 WCAG 2.0 の実装方法と不適合事例」の一部である。Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0 関連文書群において、この「WCAG 2.0 実装方法集」がその他の文書とどのような関係にあるかは、[The WCAG 2.0 Documents \(英語\)](#) を参照のこと。

Copyright © 2008 W3C[®] (MIT, ERCIM, Keio). All Rights Reserved. W3C [liability](#), [trademark](#) and [document use](#) rules apply.

日本語訳における注記:

この文書の正式版は、W3Cサイトで公開されている英語の文書であり、この日本語訳には誤訳が含まれていることもありえます。なお、文中にある「日本語訳における注記」は、W3Cの原文にはないものであり、日本語訳監修者が追記したものです。

- 原文: [H2: Combining adjacent image and text links for the same resource \(英語\)](#)
- 日本語訳監修: 植木 真 (株式会社インフォアクト)
- 日本語訳: 鈴木 邦和 (伊電気工業株式会社)



実装方法は G100 を採用して、代替テキストとして
「WAICのマスコット：植井くん」
と設定しておけば良さそうかな。

まだ、アクセシビリティ・サポートが必要な
方法かどうかを確認する必要があります。

5. 実装方法のアクセシビリティ・サポートッド情報を見る。



WAICトップ



アクセシビリティ・サポート (AS) 情報



5. 実装方法のアクセシビリティ・サポートッド情報を見る。

Web Accessibility Information Determiner

等級Aの解説

解説を作成するにあたっては、問い合わせの多い達成基準から優先的に議論しており、ワーキンググループでの検討が終わり次第、順次公開していく予定である。

- 7.1.1.1 **非テキストコンテンツに関する達成基準**
- 7.1.2.2 視覚情報の音声コンテンツのキャプションに関する達成基準
- 7.1.2.3 視覚情報の映像コンテンツの代替コンテンツ又は音声ガイドに関する達成基準
- 7.1.3.1 情報及び実行性に関する達成基準
- 7.1.3.2 象徴のある順序に関する達成基準
- 7.1.3.3 感覚的な特徴に関する達成基準
- 7.1.4.1 色の使用に関する達成基準
- 7.2.1.1 キーボード操作に関する達成基準
- 7.2.1.2 フォーカス移動に関する達成基準
- 7.2.2.1 事後可能な見出しに関する達成基準
- 7.2.2.2 一時停止・停止及び再表示に関する達成基準
- 7.2.3.1 3回以内（間：先又はいき（間））以下に関する達成基準
- 7.2.4.1 ブロックキャップに関する達成基準
- 7.2.4.2 ページタイトルに関する達成基準
- 7.2.4.3 フォーカス順序に関する達成基準
- 7.2.4.4 文語におけるリンクの目的に関する達成基準
- 7.3.1.1 ページの需要に関する達成基準
- 7.3.2.1 オフフォーカスに関する達成基準
- 7.3.2.2 ユーザインタフェースコンポーネントによる状態の変化に関する達成基準
- 7.3.3.1 入力エラー回復の特定に関する達成基準
- 7.3.3.2 フォールバック又は回復に関する達成基準
- 7.4.1.1 構文解析に関する達成基準
- 7.4.1.2 プログラムの読み可能な構文、改行及び視覚的な区別に関する達成基準

等級AAの解説

等級AAの達成基準については、等級Aの解説項目が終了次第、検討を進める予定である。

アクセシビリティ・サポートッド（AS）情報

Web Accessibility Information Committee
ウェブアクセシビリティ 基礎委員会

アクセシビリティ・サポートッド（AS）情報：2014年3月31日版

公開日：2014年3月31日
* 対象：ウェブアクセシビリティ 基礎委員会（WACI）実施ガイドライン（WAGI）

7.1.1.1 非テキストコンテンツに関する達成基準（等級A）

元の達成基準（非テキスト）	対応	達成可否
7.1.1.1 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	画像を埋り出しして視覚的に代替テキスト	達成可
7.1.1.2 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	一つの画像を埋り出しして代替テキスト	達成可
7.1.1.3 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.4 イメージマップの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	イメージマップの視覚的表現	達成不可
7.1.1.5 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.6 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.7 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成不可
7.1.1.8 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成不可
7.1.1.9 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.10 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成不可
7.1.1.11 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.12 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.13 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成不可
7.1.1.14 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成不可
7.1.1.15 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.16 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.17 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.18 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.19 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.20 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.21 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.22 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.23 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.24 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.25 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.26 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.27 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.28 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.29 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.30 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.31 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.32 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.33 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.34 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.35 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.36 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.37 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.38 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.39 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.40 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.41 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.42 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.43 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.44 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.45 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.46 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.47 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.48 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.49 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可
7.1.1.50 非テキストコンテンツの視覚的表現は、テキストを除去して、そのグループの目的を達成する。	代替テキストがある場合、変更の可視性	達成可

G100...ない？

検証結果が全て○の場合は、
解説が作成されないので、注意が必要です。

じゃ、代替テキストだけでいいのね。

植井くんの実装には、代替テキスト以外にも
注意しなければならない事がまだあります。

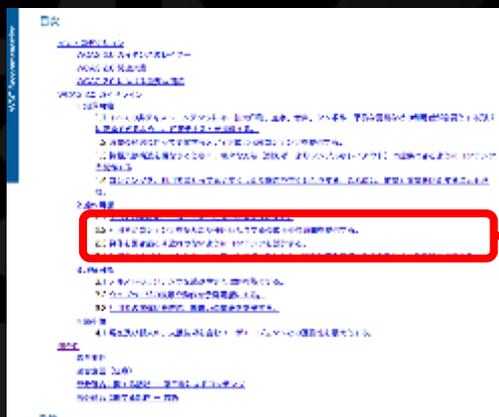
等級 A 準拠ページが満たすべき達成基準一覧

表 1—等級 A, 等級 AA 又は等級 AAA で適合する場合に満たすべき達成基準

細分簡条	題名
7.1.1.1	非テキストコンテンツに関する達成基準
7.1.2.1	収録済みの音声しか含まないメディア及び収録済みの映像しか含まないメディアに関する達成基準
7.1.2.2	収録済みの音声コンテンツのキャプションに関する達成基準
7.1.2.3	収録済みの映像コンテンツの代替コンテンツ又は音声ガイドに関する達成基準
7.1.3.1	情報及び関係性に関する達成基準
7.1.3.2	意味のある順序に関する達成基準
7.1.3.3	感覚的な特徴に関する達成基準
7.1.4.1	色の使用に関する達成基準
7.1.4.2	音声制御に関する達成基準
7.2.1.1	キーボード操作に関する達成基準
7.2.1.2	フォーカス移動に関する達成基準
7.2.2.1	調整可能な制限時間に関する達成基準
7.2.2.2	一時停止、停止及び非表示に関する達成基準
7.2.3.1	3回のせん（閃）光又はいき（闕）値以下に関する達成基準
7.2.4.1	ブロックスキップに関する達成基準
7.2.4.2	ページタイトルに関する達成基準
7.2.4.3	フォーカス順序に関する達成基準
7.2.4.4	文脈におけるリンクの目的に関する達成基準
7.3.1.1	ページの言語に関する達成基準
7.3.2.1	オンフォーカスに関する達成基準
7.3.2.2	ユーザインタフェースコンポーネントによる状況の変化に関する達成基準
7.3.3.1	入力エラー箇所の特定に関する達成基準
7.3.3.2	ラベル又は説明文に関する達成基準
7.4.1.1	構文解析に関する達成基準
7.4.1.2	プログラムが解釈可能な識別名、役割及び設定可能な値に関する達成基準

JIS 規格票 箇条4の表1

1. 動きのある情報について書かれているガイドラインを探す。



WCAG2.0ガイドライン

「2.2.2 ～動きのある～、又は自動更新する情報～」？

WC3 Recommendation

ガイドライン 2.2 十分な時間: 利用者がコンテンツを眺んだり使用したりするのに十分な時間を提供する。

[ガイドライン 2.2 を理解する](#)

2.2.1 調整可能な制限時間: コンテンツに制限時間を設定する場合は、次に挙げる事項のうち、少なくとも一つを満たしている： (レベルA)

[2.2.1 を満たす方法
2.2.1 を理解する](#)

- **解除:** 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者がその制限時間を解除することができる。又は、
- **調整:** 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者が少なくともデフォルト設定の10倍を超える、大幅な制限時間の調整をすることができる。又は、
- **延長:** 時間切れになる前に利用者に警告し、かつ少なくとも20秒間の猶予をもって、例えば「スペースキーを押す」などの簡単な操作により、利用者が制限時間を少なくとも10倍以上延長することができる。又は、
- **リアルタイムの例外:** リアルタイムのイベント (例えば、オークション) において制限時間が必須の要素で、その制限時間に代わる手段が存在しない。又は、
- **必要不可欠な例外:** 制限時間が必要不可欠なもので、制限時間を延長することがコンテンツの動作を無効にすることになる。又は、
- **20時間の例外:** 制限時間が20時間よりも長い。

注記: この達成基準は、制限時間の結果として、コンテンツ又は状況の予期せぬ変化を引き起こさないように利用者がタスクを完了できるようにするためのものである。この達成基準は、利用者のアクションの結果としてのコンテンツ又は状況の変化を制御する [達成基準 3.2.1](#) と併せて考慮すること。

2.2.2 一時停止、停止、非表示に動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報に対しては、次のすべての事項を満たしている： (レベルA)

[2.2.2 を満たす方法
2.2.2 を理解する](#)

- **一時停止、停止、非表示:** 動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報に対しては、利用者がそれらを一時停止、停止、又は非表示にすることができるメカニズムがある。ただし、その動き、点滅、又はスクロールが必要不可欠な動作の一部である場合は除く。
- **自動更新:** 自動更新する情報で、(1) 自動的に開始し、(2) その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、もしくは非表示にする、又はその更新速度を調整することができるメカニズムがある。ただし、その自動更新が必要不可欠な動作の一部である場合は除く。

注記 1: 画面がちらつく、又は閃光を放つコンテンツに関する要件は、[ガイドライン 2.3](#) を参照のこと。

注記 2: この達成基準を満たさないコンテンツでは、利用者がそのウェブページ全体を使用できない恐れがあるため、ウェブページ上のすべてのコンテンツは他の達成基準を満たすために用いられているか否かにかかわらず、この達成基準を満たさなければならない。 [適合要件 5: 非干渉](#) を参照のこと。

注記 3: 定期的にソフトウェアによって自動的に更新されるコンテンツ、又はユーザエージェントにストリーム配信されるコンテンツでは、コンテンツ再生の一時停止と再開の操作の間に生成又は受信される情報を保持したり、提示したりする必要はない。これは技術的に不可能であることが考えられ、多くの状況において利用者の混乱を招くことにつながる可能性があるためである。

注記 4: コンテンツの読み込み中やそれに類似した状況の一部として表示されるアニメーションについては、この段階ですべての利用者に対していかなる対症も発生する可能性がなく、かつコンテンツ読み込みの進行状況を表示しないことが利用者の混乱を招いたり、コンテンツが動作を停止した、又はコンテンツが破損しているという誤解を生じたりする可能性がある場合には、必要不可欠なものと考えられることができる。

関係あるかも！

2. ガイドラインに含まれる達成基準を探す。

ガイドライン 2.2 十分な時間: 利用者がコンテンツを読んだり使用したりするのに十分な時間を提供する。

[ガイドライン2.2を調べる](#)

2.2.1 調整可能な制限時間: コンテンツに制限時間を設定する場合は、次に挙げる事項のうち、少なくとも一つを満たしている：(レベルA)

[2.2.1を満たす方法](#)
[2.2.1を調べる](#)

- **解除:** 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者がその制限時間を解除することができる。又は、
- **調整:** 制限時間があるコンテンツを利用する前に、利用者が少なくともアフォルト設定の10倍を超える、大幅な制限時間の調整をすることができる。又は、
- **延長:** 時間切れになる前に利用者に警告し、かつ少なくとも20秒間の猶予をもって、例えば「スペースキーを押す」などの簡単な操作により、利用者が制限時間を少なくとも10倍以上延長することができる。又は、
- **リアルタイムの例外:** リアルタイムのイベント（例えば、オークション）において制限時間が必須の要素で、その制限時間に代わる手段が存在しない。又は、
- **必要不可欠な例外:** 制限時間が必要不可欠なもので、制限時間を延長することがコンテンツの動作を無効にすることになる。又は、
- **20時間の例外:** 制限時間が20時間よりも長い。

注記：この達成基準は、制限時間の結果として、コンテンツ又は状況の予期せぬ変化を引き起こさないように利用者がタスクを完了できるようにするためのものである。この達成基準は、利用者のアクションの結果としてのコンテンツ又は状況の変化を制限する [達成基準3.2.1](#)と併せて考慮すること。

2.2.2 一時停止、停止、非表示: 動きのある、点滅している、スクロールする、又は自動更新する情報に対しては、次のすべての事項を満たしている：(レベルA)

[2.2.2を満たす方法](#)
[2.2.2を調べる](#)

- **動き、点滅、スクロール:** 動きのある、点滅している、又はスクロールしている情報が、(1) 自動的に開始し、(2) 5秒よりも長く継続し、そして (3) その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれらを一時停止、停止、又は非表示にすることができるメカニズムがある。ただし、その動き、点滅、又はスクロールが必要不可欠な動作の一部である場合は除く。
- **自動更新:** 自動更新する情報が、(1) 自動的に開始し、(2) その他のコンテンツと並行して提示される場合、利用者がそれを一時停止、停止、もしくは非表示にする、又はその更新頻度を調整することのできるメカニズムがある。ただし、その自動更新が必要不可欠な動作の一部である場合は除く。

注記 1：画面がちらつく、又は閃光を放つコンテンツに関する要件は、[ガイドライン 2.3](#)を参照のこと。

注記 2：この達成基準を満たさないコンテンツでは、利用者がそのウェブページ全体を使用できない恐れがあるため、ウェブページ上のすべてのコンテンツは他の達成基準を満たすために用いられているか否かにかかわらず、この達成基準を満たさなければならない。[適合要件 5: 非干渉](#)を参照のこと。

注記 3：周期的にソフトウェアによって自動的に更新されるコンテンツ、又はユーザエージェントにストリーム配信されるコンテンツでは、コンテンツ再生の一時停止と再開の操作の間に生成又は受信される情報を保持したり、提示したりする必要はない。これは技術的に不可能であることが考えられ、多くの状況において利用者の混乱を招くことにつながる可能性があるためである。

注記 4：コンテンツの読み込み中やそれに類似した状況の一部として表示されるアニメーションについては、この段階ですべての利用者に対していかなる対話も発生する可能性がなく、かつコンテンツ読み込みの進行状況を表示しないことが利用者の混乱を招いたり、コンテンツが動作を停止した、又はコンテンツが破損しているという誤解を生じたりする可能性がある場合には、必要不可欠なものと考えられることができる。

- (1) 自動的に開始し、
- (2) 5秒よりも長く継続し、
- (3) その他のコンテンツと並行して提示される場合
全部当てはまっている...

「利用者がそれらを一時停止、停止、又は
非表示にすることのできるメカニズムがある。」
どうということ!?

4. 達成基準を満たすことのできる実装方法を知る。

WCAG 2.0解説書

WC3C Editor's Draft

目次 | イントロダクション | 前へ: 達成基準 2.2.1 (更新可能な動的コンテンツ) | 次へ: 達成基準 2.2.3 (動的コンテンツなし)

一時停止、停止、非表示 達成基準 2.2.2 を理解する

2.2.2 一時停止、停止、非表示: 動的である、表示している、スクロールする、又は自動的に更新するコンテンツに対しては、次のすべての事項を満たしている。 [レベルA]

- **閲覧、閲覧、スクロール:** 動的である、表示している、又はスクロールしている自動コンテンツは、(1) 自動的に更新し、(2) 1秒よりも早く更新し、そして (3) その後のコンテンツと併行して変更される場合、利用者がそれを一時停止、停止、又は非表示にすることのできるメカニズムがある。ただし、その閲覧、閲覧、又はスクロールが主要な利用目的の一部である場合は除く。
- **自動更新:** 自動的に更新するコンテンツは、(1) 自動的に更新し、(2) その後のコンテンツと併行して変更される場合、利用者がそれを一時停止、停止、もしくは非表示にする、又はその更新頻度を調整することのできるメカニズムがある。ただし、その自動更新が不可欠な動作の一部である場合は除く。

注記: 閲覧が主目的、又は閲覧を目的とするコンテンツに関する要件は、[ガイドライン 2.2.3](#)を参照のこと。

注記: この達成基準を満たさないコンテンツでは、利用者がそのウェブページ全体を制御できない可能性があるため、ウェブページ上のすべてのコンテンツは他の達成基準を満たすために用いられている必要がある。この達成基準を満たさないものは、[達成要件 2.2.2.1](#)を参照のこと。

注記: 商業的にリアルタイムによって自動的に更新されるコンテンツ、又はユーザーエージェントにストリーミング配信されるコンテンツでは、コンテンツ再生が一時的に停止し、再生が再開される可能性がある場合があり、停止し、再開する必要がある。これは技術的に不可能であることが考えられ、多くの状況において再生の停止を避けることができない可能性があるためである。

注記: コンテンツの更新が必要とされ、更新されたコンテンツの一部として表示されるアニメーションについては、この注記ですべての更新に対しては、更新は再生可能である可能性がある、かつコンテンツが自動的に更新を中止しないことが、更新の停止を意味しない。コンテンツが動作を停止した、又はコンテンツが削除されているという状態を切り分ける可能性がある場合には、必要不可欠なものとする必要がある。

この達成基準の意図

この達成基準の意図は、利用者がウェブページとやりとりしている間、他の機能に注意をそらされないようにすることである。

「閲覧、閲覧、スクロール」は、目に見えるコンテンツが動き始める印象を誘発しているコンテンツのことを指している。一般的には、動画、再生したメディアの表示、アニメーション、リアルタイムのゲーム、スクロールする画像表示などがある。「自動更新」は、あらかじめ設定された頻度で更新したり、頻えたりするコンテンツのことを指している。一般的な更新の頻度によって変化するコンテンツは、音声、自動的に更新される天気情報、ニュース、株価更新、及び自動更新する警告やメッセージなどがある。閲覧、閲覧、スクロールするコンテンツと自動更新するコンテンツに対する要件は、次のものを除いて同じである。

- コンテンツが自動的に更新される際に、コンテンツ制作者が利用者に更新頻度を調整する手段を提供するという義務がある。
- 5秒間だけ自動更新をして、その後停止するものはほとんど意味がないので、自動更新には5秒という例外はない。

注記: 語文では「three second」と記述されているが、達成基準に記載されている内容から「5秒」が正しいと推定され、秒数を修正している。

動的である又は自動更新するコンテンツは、動かないテキストを異ならせ、視覚的な利用者と対象のあるオブジェクトを目で追うのが困難な利用者にとっての障壁となることがある。また、スクリーンリーダーの利用者にも問題を提起することがある。

動的であるコンテンツは、ある利用ユーザーにとっては邪魔な動きを引き起こすことがある。特に注意力欠如障害のある利用者などは、表示しているコンテンツに気を取られてしまい、ウェブページその以外の部分に集中するのが困難になってしまう。5秒を基準として選んだのは、利用者の注意を引くには十分長きであり、なおかつ、ページを閉鎖することが必要であれば、利用者が気が散られるのを防ぐために短いからである。

一時停止したコンテンツは、リアルタイムで再開するが、利用者が一時停止したところから再生を始めるかどうかはどちらかである。

1. 一時停止した後、利用者が一時停止したところから再開することが、コンテンツを閲覧するために一時停止したいと思う利用者にとっては望ましい方法であり、コンテンツがリアルタイムのイベント又は状態に同期しない場合に最も良い方法である。
注記: 許可のための頻度調整に関するその他の要件については、[達成要件 2.2.2.1](#) [達成要件 2.2.2.2](#) [達成要件 2.2.2.3](#)を参照のこと。
2. 一時停止した後、(一時停止を解除した時に) 最初の表示へ戻ることは、リアルタイム又は本来の「状態」にある情報によってよりよいことである。例えば、気象レーダー、株価表示、交通情報カメラ、又はアクションのタイマーなどは、コンテンツ再生時に一時停止したことで古い情報が表示されると、誤った情報を提供してしまうことになる。
注記: コンテンツを非表示にすることは、一時停止した後、(一時停止を解除した時に) 最初の表示へ戻るのと同じ効果が得られる。

注記: 「閲覧」と「閲覧」は、同じコンテンツを指すこともある。

- 「閲覧」は、利用者の注意を散漫にさせる問題を引き起こすコンテンツを指している。閲覧は、それを停止する [又は停止させることができる] 限り、短時間でめれば許容することができる。
- 「閲覧」は、(1秒間に3回よりも多く、文字と聞える音が十分な場合には) 光過敏性発作を引き起こす恐れのあるコンテンツを指している。これは、光過敏性発作を引き起こす恐れがあるため、たとえ1秒間だけであっても許容されない。光過敏性発作は利用者が止める際、引き起こす恐れがあるため、閲覧と異なるにはならない。
- 閲覧、閲覧は1秒間に3回以上の頻度で起こらないが、閲覧は1秒間に3回以上の頻度で起こることでもできる。閲覧は1秒間に3回以上の頻度で起こる場合には、それら両方ともなされるであろう。

植井くんの動きを止めることで、
植井くんをじっくり見たい人にはじっくりと、
他の記事を読む人の邪魔しないように...か。(T_T)

ここで、植井くんの動きは「点滅を伴う」
と仮定してください。（強引）

4. 達成基準を満たすことのできる実装方法を知る。

達成基準2.2.2 の実装方法及び不適合事例 - 一時停止、停止、非表示

この節にある番号付の項目は、WCAG ワーキンググループがこの達成基準を満たすのに十分であると判断する実装方法、又は複数の実装方法の組合せを表している。
[WCAG 2.0 適合要件](#)のすべてが満たされている場合のみ、次に挙げる実装方法により、この達成基準を満たすことができる。

達成基準を満たすことのできる実装方法

1. [G4: コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする](#)
2. [SCR33: スクリプトを用いてコンテンツをスクロールし、それを一時停止できるメカニズムを提供する \(Scripting\)](#)
3. [G11: 5秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを作成する](#)
4. [G187: ユーザーエージェントによって点滅するコンテンツを停止できるウェブコンテンツ技術を用いる](#)
5. [G152: 数回のループ後 \(5秒以内\) に停止するように、アニメーションGIFを設定する](#)
6. [SCR22: スクリプトを用いて、点滅を制御し、5秒以内に停止させる \(Scripting\)](#)
7. [G186: 動きのあるコンテンツ、点滅するコンテンツ、又は自動更新されるコンテンツを停止させるコントロールを用いる](#)
8. [G191: 点滅するコンテンツのないページを読み込むリンク、ボタン、又はその他のメカニズムを提供する](#)

達成基準 2.2.2 でさらに対応が望まれる実装方法 (参考)

適合するためには必須ではないが、コンテンツをよりアクセシブルにするためには、次の付加的な実装方法もあわせて検討するとよい。ただし、すべての状況において、すべての実装方法が使用可能、または効果的であるとは限らない。

- ウェブページ内で点滅するすべてのコンテンツを止めるメカニズムを提供する (リンク追加予定)
- 5秒以内に自動的に止まるとしても、利用者が動きのあるコンテンツを止めるための手段を提供する。 (リンク追加予定)

達成基準 2.2.2 のよくある不適合事例

以下に挙げるものは、WCAG ワーキンググループが達成基準 2.2.2 に適合していないとみなした、よくある不適合事例である。

- [F16: 達成基準 2.2.2 の不適合事例 - 動きが不可欠ではないところにスクロールするコンテンツがあり、そのコンテンツを一時停止及び再開するメカニズムがない](#)
- [F47: 達成基準 2.2.2 の不適合事例 - blink要素を用いている](#)
- [F4: 達成基準 2.2.2 の不適合事例 - text-decoration:blinkを用いて、5秒未満でそれを停止させるメカニズムがない](#)
- [F50: 達成基準 2.2.2 の不適合事例 - 点滅させるスクリプトを用いて、その点滅を5秒以内に停止させるメカニズムがない](#)
- [F7: 達成基準 2.2.2 の不適合事例 - 例えばJava又はFlashのようなオブジェクト又はアプレットに点滅するコンテンツがあり、5秒よりも長く点滅するコンテンツを一時停止させるメカニズムがない](#)

4. 達成基準を満たすことのできる実装方法を知る。

W3C Working Group Note



WCAG 2.0 実装方法集

目次
イントロダクション
前: 実装方法 G186
次: 実装方法 G188

G187: ユーザーエージェントによって点滅するコンテンツを停止できるウェブコンテンツ技術を用いる

このページのコンテンツ:
[適用 \(対象\)](#)
[解説](#)
[事例](#)
[検証](#)

適用 (対象)

ウェブコンテンツ技術全て。

これは、次の達成基準に関連する実装方法である：

- [達成基準 2.2.2 \(一時停止、停止、非表示\)](#)
 - [How to Meet 2.2.2 \(Pause, Stop, Hide\) : 英語](#)
 - [達成基準 2.2.2 \(一時停止、停止、非表示\) を理解する](#)

解説

この実装方法の目的は、点滅するコンテンツをユーザーエージェントの機能を使用して止めることができるようにすることである。特定のウェブコンテンツ技術では、ユーザーエージェントによって利用者がアニメーションを止めることができる。利用者がこの機能を実行するとき、点滅も含めたすべてのアニメーションは停止する。[ここから追加] この機能は、WCAGに適合したインタラクティブなコントロール、又は明記されたキーボード・ショートカットのいずれかによって提供することが可能である。[追加ここまで]

利用者がアニメーションを止めるための一般的な方法は、Escapeキーを押すことである。そのキーを押すためのイベントキューの中で先行するプロセスがない限り、動きのあるアニメーションや点滅しているコンテンツを停止するコマンドとして動作する。

一般的にこれが機能するとされているウェブコンテンツ技術：

- Graphics Interchange Format(GIF)
- Animated Portable Network Graphics(APNG)

事例

- ページに、利用者の注意をひきつけるための点滅するバナーがある。そのバナーは無制限に繰り返すアニメーションGIFである。利用者はEscapeキーを押すことによって、ページ上のすべてのアニメーションGIFの動きを止めることができる。

実装方法 G187の事例（GIFアニメーション）が、
アクセシビリティ・サポーテッドなのかどうか
調べましょう。

6. 想定される閲覧環境で問題がないか確認する。

アクセシビリティ・サポータード (AS) 情報：G187

Web Accessibility Infrastructure Committee

アクセシビリティ・サポータード (AS) 情報：G187

- 公開日：2014年7月4日
- 作成者：ウェブアクセシビリティ基盤委員会 (WAIC) 実務ワーキンググループ (WG2)

G187: ユーザーエージェントによって点滅するコンテンツを停止できるウェブコンテンツ技術を用いる

関連する達成基準の実装方法一覧

7.2.2.2 一時停止、禁止及び未表示に別する達成基準 (等義的)

テストファイル

[G187のテストファイル](#)

見解

要注意

対象

GIFアニメ

注意点

一部のブラウザでは、GIFアニメーションをユーザーが一時停止または停止させることができない。また、停止の機能があるブラウザであっても、停止の操作 (Escapeキーで停止) を知らないユーザーが多いと考えられる。

備考

WCAG 2.0の「2.1.1.6 Stop/Pause/Resume (Time Based Media Level A)」では、ユーザーが animated images を一時停止、停止および再開できることがユーザーエージェントに要求されている。今後の観測向上に期待する。

Web Accessibility Infrastructure Committee

テスト結果の詳細

ユーザーエージェント	検証結果	操作手順	備考
Internet Explorer 8.0	○	エスケープで停止できた。	
Internet Explorer 7.0	○	escを押し下ると点滅を止めることができる	
Internet Explorer 8.0	○	escを押し下ると点滅を止めることができる	
Internet Explorer 9	○	何らかのキー操作により、両側の点滅を停止できるかを確認	○: escを押し下ると点滅を止めることができる
Firefox 3.5	○	「Esc」を押すと両側の点滅が停止する。	
Firefox 4.0	○	1: 「Esc」を押すことで両側の点滅を止めることが可能	
Firefox 9.0	○	何らかのキー操作により、両側の点滅を停止できるかを確認	○: escを押し下ると点滅を止めることができる
Safari 5.2	×	EscキーやEnterをおしてみたが、とまらない。	点滅を止める方法がないため、x。Windowsに入れているSafariでもEscキーでは止まりませんでした。(中止ボタンも同様)
Safari 5.0.3	×	EscキーやEnterをおしてみたが、とまらない。	
Windows 8.0	×	テスト未実施	

要注意 想定される閲覧環境に注意して使いましょう。

※ Safari, Google Chromeでは、GIFアニメを利用者が一時停止／停止させることができない。
また、停止の機能があるブラウザでも、操作 (ESCキー) を知らない利用者が多いと考えられる。

ということで... 植井くんは、
代替テキストを設定し、
GIFアニメーションで点滅させる、てことでOK？

あれ？ 「動き回らせたい」のでわ？

やっぱり... JavaScriptの改修が大変なんで、
植井くんを動かすのは、5秒間だけにします！

＼うえーい／

まとめ

- JIS X 8341-3:2010 の 箇条7 = WCAG 2.0
- 達成基準だけで理解できないことは解説書を読む。
- 満たすべきは達成基準。実装方法集は事例集に過ぎない。
- 実装方法集の事例は、実際に使えるとは限らないので、アクセシビリティ・サポーテッド情報を参照する。

ありがとうございました。